

## 「平城遷都1300年記念祝典」が奈良・平城宮跡で開催！

～海外賓客の招聘及び接遇～

2010年12月

(社)平城遷都1300年記念事業協会

わが国で初めての本格的な首都「平城京」が西暦710年に誕生してから1300年にあたる2010年、この1年間を通して、平城京誕生の地である奈良県を中心に「はじまりの奈良、めぐる感動。」をテーマに「平城遷都1300年祭」を実施いたしました。

この中で、同祭の中核事業として国のはじまりから1300年という歴史を祝い、それを支えた先人に感謝する「平城遷都1300年記念祝典」を10月8日に平城宮跡第一次大極殿・前庭特設会場において開催、この記念祝典には、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、衆議院議長、最高裁判所長官をはじめ日本の政財官を代表する方々、さらには、東アジア諸国をはじめ各国政府代表として多くの駐日特命全権大使のご出席をいただき、諸外国政府からもお祝いの気持ちを寄せていただける国家的な事業として盛大なものとなりました。

この記念事業は、2008年10月に閣議了解を得て、国の関係省庁等の支援・協力、特に「平城遷都1300年記念祝典」への諸外国政府代表の招聘等については、外務省の多大な支援・協力を頂きました。その取り組みの一端について紹介します。

### 1. 諸外国政府代表の招聘活動

2009年9月に外務省地方連携推進室に、諸外国政府に対してのアプローチをどのように進めていけばよいのか等について相談に伺いました。招聘にあたっては、まず、県・協会から各国駐日大使あてにこの記念祝典の開催について早期に公式に周知することが必要で、各国大使が帰国される年内クリスマスまでに説明会を開催することが望ましいとの助言をいただきました。

これを受けて、国家的な行事としてこの記念祝典が開催されることを認識いただくため、2009年12月に「駐日外国公館を対象とした平城遷都1300年祭説明会」を東京と大阪の2ヶ所で開催しました。

この説明会には、外務省の支援・協力もあって、予想を大きく上回る65ヶ国の駐日特命全権大使等と29ヶ国の在関西総領事等の出席を頂き、「平城遷都1300年記念祝典」について強力にアピールすることができました。これが一番大きな原動力になったことは間違いありません。

### 2. 接遇(おもてなし)体制

記念祝典への招聘に伴う接遇等プロトコール全般についても、外務省からきめ細かな助言をいただきました。

例えば、在京大使に手弁当で記念祝典に参加いただくには、奈良に行ってみたくなるようなおもてなしも重要であるとの指摘を受けて、この一つとして記念祝典の翌日に奈良の魅力を体感いただく、奈良ならではのエクスカージョンプログラムを用意しました。

また、宿泊施設の手配や移動手段の確保等ロジの部分では極めて重要であり、この記念祝典への受入に当たっては、きっちりと接遇することが肝要であるとのことから、これまでにない規模・内容の接遇体制を取りました。



エクスカージョン・鹿寄せ(10/9 奈良公園)

その核となったのがマン・ツー・マンのアテンド体制で、県職員・奈良市職員及び通訳がそれぞれの国ごとに、奈良での受入から出発まで、具体的には宿泊施設から祝典会場への移動、会場案内、レセプション会場への移動、また個々の要望等などにも親切・スムーズに対応できるよう約100人の職員(国内の賓客対応を含めると約200名)を配置しました。

これには、人員の確保、説明会の実施など多大な労力・時間を要しましたが、結果として「大変喜んで帰って頂いた。」という声が多く届いており、うまく機能できたと考えております。

### 3. 記念祝典

2010年10月8日(金)の記念祝典は、好天のもと、54ヶ国の特命全権大使等や13ヶ国の在関西総領事をはじめ、国内外から約1,700人も多数の方々の御出席をいただきました。

祝典では、秋山喜久会長の主催者あいさつ、荒井正吾理事長(奈良県知事)の歓迎のことば、天皇陛下のおことば、古川元久内閣官房副長官(菅内閣総理大臣代理)の来賓祝辞のあと、楽劇「平城(なら)・アジア友好の架け橋」などが演じられ、最後に、次の世代を担う日中韓の子ども達による「私たちの平城遷都一三〇〇年宣言」が発表され、未来に向けた友好・交流のメッセージが発せられました。



天皇陛下のおことば

(第一次大極殿・前庭特設舞台)



外国政府代表(特設舞台壇上席)

### 4. おわりに

平城遷都1300年祭のメイン会場である平城宮跡会場には、会期中(4/24~11/7)、目標の250万人を大きく上回る363万人もの来場者を迎えることができました。また、外国からの賓客も、カルザイ アフガニスタン大統領をはじめ、APEC 観光大臣会合、東アジア地方政府会合など、多数の方々に来場頂きました。

特に、外国賓客の受入にあたっては外務省の方々に大変なお力添えを頂きました。あらためて深く感謝申し上げます。

今後は、これらの成果を継承し、さらに奈良の魅力を高め、「奈良に来てよかった。また、奈良に来たい。」と思って帰っていただけるよう、さらに努力して参りたいと考えております。



カルザイ アフガニスタン大統領・  
荒井奈良県知事による案内  
(6/20 第一次大極殿)